

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	横浜SSJ北部事業所	事業所番号	1413301522
住 所	緑区十日市場町819-3第5高ビル3階	管理者名	麻生 政志
電話番号	045-508-9693	対象年度	2024年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所：横浜市北部斎場 実施日程：年間321日 8：45～16：30 実施した生産活動・施設外就労の概要 斎場内の会葬者休憩室や湯茶提供における食器類の洗浄・お湯や茶器等準備。その他、ロビーやホール、駐車場などの清掃やその他斎場内での会葬者に関わる案内等 利用者数：28名	<活動の様子> 火葬件数は、昨年度と同様、夏場以降が多かった。新規での雇用が少なく、実際活動した利用者も昨年度より少なかったため、日々慌ただしい環境であった。少ない人数であっても利用する方に不快な思いをさせないように清掃業務には人数を通常通りかけて行った。また、会葬者等の休憩室使用時間が例年より後ろ倒しになることが多かったが、横浜市の職員と協力して、次に利用する会葬者が休憩室を利用できるよう間に合わせるよう工夫して対応した。
<目的> 障がい者の働く場として、地域の施設で活動し、一般就労への移行や賃金の引き上げを図る。また、地域施設での活動を通して、障がい者が普通に働けるということに対する普及啓発及び地域の方との障がい者の相互理解に繋げる。	
<成果> 昨年度より利用者数が少ない中（延べ3383名、635人減）、火葬件数は昨年度と変わらない状況であり、多くの利用者が昨年度より勤務時間数が増加し、より多くの賃金を稼ぐことが出来た。その反面、多忙による疲労等から利用者が一般就労等次のステップを考える時間を持つことが昨年度より少なくなってしまったのではないかと感じており、反省点である。	

連携先の企業等の意見または評価

前年に引き続き、火葬中の湯茶等の提供及び使用後の片付け・清掃、場内の共用スペースの清掃等を担当し、また、売店の運営も円滑に行っていただいています。 横浜市職員が少数の施設であり、常に本市職員等と協力し、会葬者の安全かつ快適な施設利用に多大なる貢献をいただいています。時には、お客様から過剰な要望等を受ける状況もある中で、本市事務室側の考え方に基づき、適切に対応していただいております。北部斎場を運営する上で、とても頼もしいパートナーであると感じています。 繁忙期の対応では業務量が増え、更に、その期間自体も長期に及び、大きく負担が増えているところがありますが、しっかりと業務を履行していただき助かっています。			
連携先企業名	横浜市健康福祉局企画部環境施設課北部斎場	担当者名	河原 隆久

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	横浜SSJ北部事業所
住 所	緑区十日市場町819-3第5高ビル3階
電話番号	045-508-9693

事業所番号	1413301522
管理者名	麻生 政志
対象年度	2024年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所：横浜SSJ北部事業所事務所 実施日程： 2024/8/19、2024/10/28、2025/3/26 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 管理栄養士による食に関する講義、レシピや総菜・お弁当についての実地研修、食事記録を基にした個別指導 利用者数： のべ12名	<活動の様子>  適切な一日の塩分量がどれくらいかを知るため、塩1gを実際に測っている様子。想像以上に量があると驚いていた。  参加者が1日の食事記録を作成し、それを基に、食べるタイミングや入れ替えたほうが良いものなど、栄養バランスに関するアドバイスを受けた。  プログラムで作ったツナコーン 切り干し大根（左）とキャベツ とツナの塩昆布和え（右）
<目的> 「長く働き続けるための身体づくり」について、栄養バランスをはじめ、食に関する専門的な知識を学び、実生活に活かしていくことを目的としている。	
<成果> 継続して開催する中で、管理栄養士からのアドバイスを取り入れ、食生活を変化させ始めた方もいたり、食事という側面から持病への対処ができるよう心掛けたりする方が出てきた。また、プログラムを通し、“就労”に繋がる食生活についてはもちろん、それ以外の生活の様子について新たに知ることができ、利用者理解を深めることが出来た。自炊をしている人やもともと食に関心がある人の参加が多いため、そうではない人も含めた参加促進が今後の課題である。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・連携した結果に対する意見または評価 8/19.10/28.3/26と3回の開催で、毎回担当者様とテーマを決め、8月3月は講義・簡単レシピ紹介・デモ・試食を行い、10月は講義・スーパーでお惣菜やお弁当選びのポイントを皆で学んだ。毎回事前に質問を頂き当日お応えする。当日講義の中で頂く質問にもお応えした。毎回参加者様の熱心さを感じ、講義内容を実践、改善される様子がうかがえ意識の高さを感じた。デモで作り方・試食を行い、実践しやすいと感じて頂けたように思う。講座にご参加頂き、仕事場面では見られない姿や課題の見える方もあり良かった。 ・今後の連携強化に向けた課題 今後も参加者様が何を知りたいかを担当者様と話し合い、テーマを持った講座で、より多くの方にご参加頂けるよう努める。仕事を継続していく上で、「食」の大切さを分かりやすく伝えていける講座を心掛ける。	
連携先企業（担当者）	管理栄養士・赤堀智子

利用者からの意見・評価

- ・知らないことがたくさんあってすごく勉強になりました。
- ・健康のひけつを身に着けたような気がする。
- ・エネルギー、塩分、糖分について、様々な食べ物、飲み物を取り上げた話は割とわかりやすかった。
- ・自分自身の今の食事ではバランスが悪く野菜が必要だという学びがありました。
- ・マヨネーズの入ったサラダは量が多いとのことでした。脂質が多いので気を付けたいと思います。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	横浜SSJ北部事業所
住 所	緑区十日市場町819-3第5高ビル 3階
電話番号	045-508-9693

事業所番号	1413301522
管理者名	麻生 政志
対象年度	2024年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		80 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15 点
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		5 点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		4 点
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		4 点
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		4 点

（※）8項目の合計点に応じた点数

（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	
生産活動	20点	10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計	180 点	／200点
----	----------	-------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（ 2024 年度）

雇用契約を締結していた全ての
利用者における延べ労働時間

20,970

時間

雇用契約を締結していた延
べ利用者数

3,383

人

利用者の 1 日の平
均労働時間数

6.2

時間

(II) 生産活動

会計期間（ 4 月～ 3 月）

前々々年度（ 2022 年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

35,161,876

円

利用者に支払った賃金
総額

32,255,262

円

収支

2,906,614

円

前々年度（ 2023 年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

36,037,150

円

利用者に支払った賃金
総額

34,925,093

円

収支

1,112,057

円

前年度（ 2024 年度）

生産活動収入から経費
を除いた額

36,627,794

円

利用者に支払った賃金
総額

28,740,799

円

収支

7,886,995

円

(III) 多様な働き方

前年度（ 年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨
に関する制度を定めている☐

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を
定めている☒

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
に関する制度を定めている☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を
定めている☐

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を
定めている☒

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を
定めている☒

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度
を定めている☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を
定めている☒

(IV) 支援力向上

前年度（ 年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

☒

◎外部研修、もしくは内部研修を

1 回以上実施している。

☒

※研修名 精神疾患について学ぶ

研修講師 横浜市立大学 浅見剛氏

実施日・受講者数 2 月 17 日 9 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において

1 回以上発表している

☐

※研修、学会等名

実施日 月 日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

☒

※先進的事業者名 株式会社ビーアシスト

実施日/ 参加者数 3 月 10 日 2 人

※他の事業所名

実施日/ 参加者数 月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上

参加している。

☐

※商談会等名

主催者名

日時 月 日

内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

☒

◎当該人事評価制度を周知している

☒

人事評価制度の制定日 2023 年 4 月 1 日

人事評価制度の対象職員数 5 名

うち昇給・昇格を行った者 5 名

当該人事評価制度の周知方法

説明資料による

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

☒

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」

を受講している

☒

※配置期間 4 月 1 日～ 3 月 31 日

就業時間 8 : 45～16 : 30

職務内容 利用者の相談、現場支援

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去 3 年以内に

福祉サービス第三者評価を受けている

☐

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISO が制定したマネジメント

規格等の認証等を受けている

☐

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、
経営改善計画書へ提出した。☐

※受理日 年 月 日

※経営改善計画書を求められていない